

VMware View による仮想デスクトップ環境導入支援

背景

長らくクライアント PC の OS の定番として使用されてきた Windows XP も、セキュリティ更新プログラム以外の提供はすでに終了しており、2014 年 4 月のサポート終了まで 2 年余りとなりました。

今回ご紹介する事例では、お客様は Windows XP から Windows 7 へのアップグレードを決定されており、クライアント PC のライフサイクルの運用コスト削減のため、クライアント PC の仮想化を検討されていました。そうした中、弊社にお声掛け頂き、弊社にてシステム導入における企画から、検証、設計、導入、運用までご支援させて頂きました。

作業規模	仮想サーバ:3 台 仮想デスクトップ使用クライアント:150 台 仮想デスクトップ等クライアントテンプレート:3 種
作業期間	2 か月
作業人数	3 人

ご提案

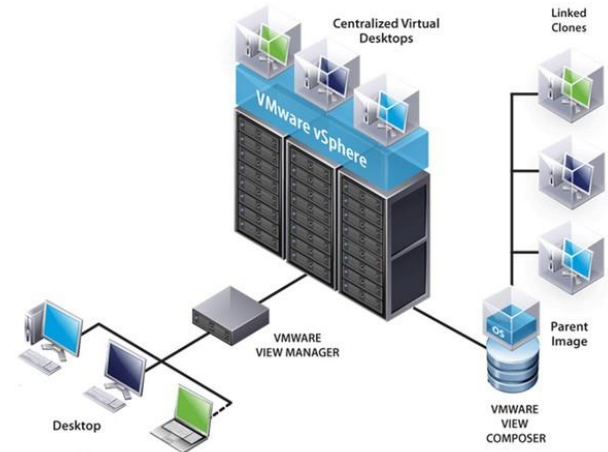
1.機能・コストの比較

弊社にて導入から 5 年間のランニングコストを、VMware View、Citrix XenDesktop、Microsoft Hyper-V の各製品別に算出し、仮想化を行わなかったケースのランニングコスト、各製品の機能と併せて一覧表に集約。費用、操作性の観点から VMware View の導入をご提案。

費用のみの比較では VMware+XenDesktop が最も低コストでしたが、操作性、運用担当者様の技術スキルを考慮した結果、VMware View の採用に至りました。

2.導入方法

導入方法については、導入当初からシンクライアント端末へ入れ替えるのではなく、保守期限までは既存 PC のハードウェアをそのまま使用し、仮想化された Windows 7 を動作させる方法をご提案。これにより、初期費用を落としつつ仮想環境へ移行することが可能となりました。



作業内容

1. 基本設計

- ネットワーク設計、構成図作成
- ハードウェア設計
- テンプレート パターン検討

2. 詳細設計

- VMware ESXi 設計
- VMware vCenter Server 設計
- VMware Connection Server 設計
- Active Directory 設計(既存設計変更)
- テンプレート 設計(3 種類)

3. 導入

- ハードウェアキitting
- ラッキング
- VMware vSphere 環境の構築
- VMware View 環境の構築

4. 仮想デスクトップ用テンプレート

- テンプレート 作成(3 種類)

5. 動作確認テスト

サーバ単体動作確認

仮想環境動作確認

サーバ結合動作確認

- ・ 仮想デスクトップ接続テスト
- ・ 移動ユーザプロファイルテスト
- ・ 障害テスト

運用機能動作確認

- ・ vCenter アラームテスト
- ・ サーバメンテナンステスト、手順確立
- ・ 仮想デスクトッププレートメンテナンス
- ・ バックアップ／リストアテスト

6. 運用引継

定例運用業務

- ・ vCenter 監視 追加／変更／削除 等
- ・ 仮想ゲスト 追加／変更／削除 等

非定例運用業務

- ・ 障害時対応

作業効果

1. クライアント PC 運用に係るランニングコストの削減

仮想化されていない環境では、OS イメージの展開や基本設定、アプリケーションのインストール、ユーザーデータの移行など、PC の交換・配布作業に大きな作業負荷がかかっていました。デスクトップの仮想化後は、ユーザーの環境はサーバー上に保存されているため、PC に仮想デスクトップクライアントをセットアップするだけとなり、作業負荷が大きく軽減されました。

今後、シンクライアント専用端末へ入れ替えを行うことで、クライアント PC のセットアップ作業はさらに省力化されることが見込まれています。

2. セキュリティ強化

既存環境ではセキュリティ更新プログラムの適用がユーザーに任されていたため、必ずしも適用されていない可能性がありました。仮想デスクトップ環境では、VMware View のテンプレート機能を活用することで、各ユーザーのデスクトップを一括更新することが可能になり、セキュリティ更新プログラムの適用状態を均一化することが可能となりました。

3. BCP 対策

仮想デスクトップ環境に移行したことで、震災などの有事の際にユーザーのクライアントPCが破損した場合でも、ユーザーのデスクトップ環境やデータは中央のサーバーに保存された状態となります。これにより、万一の場合でも企業活動を継続する環境を構築することができました。

IHS 利用による効果

1. 導入環境下に最適なソリューション選択

IHS ではベンダフリーの立場から、1 つのベンダにとらわれる事なく、お客様に合わせた製品のご提案が可能です。今回の事例では、VMware View、Citrix XenDesktop、Microsoft Hyper-V の各製品について、製品の選択基準となる機能や操作性、5 年間使用した場合のランニングコスト、初期費用などについて比較表をご用意させて頂き、お客様の環境、運用ご担当者様のスキルに合わせてご提案をさせて頂きました。

2. 企画～運用までの幅広い支援

IHS では、多数の仮想化構築実績があり、現在も複数の拠点で運用を担当しております。そうした仮想化の実践的なノウハウを活かし、仮想環境の企画、設計、構築、運用まで幅広く対応可能です。

IHS は「VMware ソリューションプロバイダ プロフェッショナルパートナー」認定を受けており、仮想化案件には構築・運用経験のある有資格者が対応をさせて頂きます。また、パフォーマンス管理ツールを使用した仮想化環境の最適化もご好評頂いております。

仮想化作業に関しましてご興味ございましたら、IIM ヒューマン・ソリューション営業担当までお問い合わせ下さい。